

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市洗川町三丁目5番地7
 (洗川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



▲一列に並んで
ゆくり苗植え

平成二十三年六月十日
田圃田植実施。
高橋の教諭が今年
も愛知の香りを届
けます。
(名都南高等学校)

▼うしろに園児、頑張るの声を聴かせる

各地の内発的、主体的な「地
元学習」を求め、人間の生活の
場としての「田舎」の意味を現
代的に復権するのが、「21世紀の田舎
学習」の使命だ。

田舎学習を創出して行く
ことは「ダウンヤード」
ばかりでなく、解体され
たコミュニティを、21世紀
にふさわしい形を積み直
すことであり、同時に
そのことは、地元若者の
積極的な定住を喚起
して行くことにもつなが
て行く。



食育基本法に
もとづき定められ
た食育推進基本
計画は、元々厳し
い現状認識をも
とに、
①子どもと親
意識を育む
②親自身も
生活を交え
食育本来の
味がわかるよ
うにする
③健康食品では朝食
と食べない夕食、
痛食や過剰な栄養
摂取による肥満の増
加がある。
④食生活で「人」で食
べない、
⑤「孤立」が別々の物
を食へる「孤立」は、
の使い方もあつた
どマナーの欠如が
「食育のねらいは」
の深刻な食環境の
解消。



▲カモも来る、タシもいる。
田んぼに水が入るとカモが飛んできねる。

